

— 講演者 — 横山 潤 博士 (山形大)

タニウツギの花形態にあたる訪花昆虫と種間交雑の影響

— 共同開催 — つくば進化生態学セミナー / 共存生物学セミナー

# 盗蜜か、交雑か。

どっちが花の形を変えるのか？

# 1.19 (木)

## 16:00 - 18:00

筑波大学  
総合研究棟A205

被子植物は、その多くが昆虫に花粉媒介を依存している。虫媒花の形態は、植物と送粉者の相互作用にとって重要な形質であり、送粉者や盗蜜者の行動や形態的特徴に対応した形態を備えるように、強い自然選択を受けていると考えられる。一方、被子植物は近縁種が共存する状況下で、しばしば種間交雑を起こす。雑種個体は、その後の雑種後代の形成や戻し交雑の過程で新しい形質を持つこともある。このような場合、花形態の進化はより急速に生じる可能性がある。本講演では訪花者、特に盗蜜者と種間交雑が花形態の進化に及ぼす影響を、東北地方に分布するタニウツギを対象として解析した成果について報告する。

| 世話人 | 佐々木那由太 / 鈴木美季  
| メール | zuzugi@pe.ies.life.tsukuba.ac.jp (鈴木)  
| Web | <http://tsukubaecology.web.fc2.com/>

どなたでも参加できます。  
懇親会もあります。